

球磨病院が担う役割について

令和5年3月 球磨病院

1 現状と課題

【自施設の現状①】

当院は「愛する人を安心して任せられる病院の創造」を理念とし、「患者様中心の医療の提供」、「患者様へのサービスの向上」、「救急医療の充実、医療水準の維持、向上」、「予防医療の展開」、「医療安全の確保」、「地域連携の強化」、「経営の健全化」の7つの基本方針の下に病院運営を行っています。

従業員は、医師11名、看護師49名、准看護師45名、薬剤師3名、放射線技師4名、臨床検査技師3名、理学療法士10名、作業療法士4名、言語聴覚士2名、臨床工学士2名、社会福祉士4名、管理栄養士1名、栄養士1名、調理員13名、介護補助者42名、事務員31名、健診等7名、の総職員数232名です。

届け出入院基本料ごとの病床数は下記表のとおりです。なお、療養病棟入院料1(123床)のうち、40床は現在休床しています。

入院基本料	病床数	平均在院日数
急性期一般入院料5	34床	17日
療養病棟入院料1	123床	
地域包括ケア病棟入院料2	45床	
障害者施設等入院料13:1	30床	
合計	232床	

1 現状と課題

【自施設の現状②】

当院では、次の4つの柱を中心に運営を行っています。

1. 二次救急指定病院として、内視鏡検査、CT機器等を備え、様々な疾患に迅速な対応を行っています。
2. JCHO地域医療機能推進機構人吉医療センターと公立多良木病院の受け皿として、救急の後方支援を行い、回復期部門の役割を果たしています。
3. 患者様の大多数が高齢者であることから、回復期・慢性期に重点を置いて地域医療に貢献すべく適切な医療サービスを提供しています。また、併設の介護医療院において医療ニーズの高い要介護者へ長期療養と生活支援を提供しています。
4. 当院南棟6階に透析患者センターを設け、入院患者様及び透析の必要な方で外来透析の可能な方へ、腎臓内科医による安心な医療を提供しています。

1 現状と課題

【自施設の現状③】

前回会議での報告事項については下記のとおりです。

1. 上空通路について

令和2年6月に球磨病院と旧人吉中央温泉病院を上空通路で繋ぎ一つの病院とし、機能統合を実施したことにより、患者様・ご家族様、スタッフの利便性を図ることができました。

2. 人吉記念病院の合併について

令和2年11月に球磨病院へ旧人吉記念病院を合併しました。

3. 保険付与対象外の自由診療病床について

前回会議でお伝えしましたとおりです。（令和2年1月県に対し再協議を申し入れましたが、今日まで再協議頂いてません。）

1 現状と課題

【自施設の課題】

当院の掲げる理念に基づく医療の推進のためには、地域医療への貢献や経営基盤を安定させる必要が有ります。そのための課題は下記のとおりです。

1. 救急医療体制の強化

年度	救急車受入件数	内、入院件数	内、時間外件数
平成29年度	159	60	86
平成30年度	194	76	114
令和元年度	215	89	135
令和2年度(注)	81	40	35
令和3年度	261	104	137

(注) 令和2年度の4～7月分データは豪雨災害の為消失し、8月以降の実績です。

令和3年度の実績は、令和元年に比べ各件数とも増加していますが、今後も迅速な二次救急対応を実施するため、医療体制の強化を図っていきます。

2. 入院患者受け入れの促進

3. 診療科の充実

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】①

- 二次救急の更なる充実を図る
- 回復期医療の更なる充実を図る
- 慢性期医療・介護の更なる充実を図る
- 透析医療の更なる充実を図る

地域医療においては医療機関間の役割分担や介護等各種施設との協力がこれまで以上に必要であり、今後も各医療機関や介護施設等とより緊密な連携を図り、適切で着実な医療サービスの提供を行なっていきます。

また、健診センターでの健康診断を通じて、病気の予防・早期発見や生活改善の指導など、人吉・球磨地域の健康管理に今後もより一層携わっていきます。

当医療法人内で展開する、球磨病院併設介護医療院、精神科・神経科を診療科とし認知症病棟を有する光生病院、球磨村診療所と定期的な会議を実施して、蘇春堂グループとしてより地域医療・介護の更なる充実を図り地域へ貢献していきます。

【地域において今後担うべき役割】②

●新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスのような重大感染症による各病院への加重負担を避けるため、重大感染症の対応ができるような各病院との連携と役割分担が必要となっており、慢性期病床を多く有する当院の役割も今後は重要になるものと考えます。

当院は新型コロナウイルス感染の疑いがある人を診療・検査する「診療・検査医療機関」になっています。令和4年1月～12月の診療実績は1,832件でした。

また、当院は、新型コロナウイルス感染症で人吉医療センターに入院し、新型コロナウイルス感染症の療養期間が経過しても尚継続して入院治療を要する患者様の受入を行っております。令和4年1月～12月の人吉医療センターからの入院受入件数は24件でした。

これからも保健所や医師会の方針・施策に従い、政策医療を担う病院として、地域の救急医療体制の一翼も担い、地域医療福祉に貢献していきたいと考えます。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(令和5年)	2025年(令和7年)
高度急性期	0	0	0
急性期	34	34	40
回復期	45	45	45
慢性期	75	153	153
その他	6	6	0
合計	160	238	238

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その2】

急性期を扱う急性期一般病棟では、手術前後を含む、急性期及び慢性疾患が増悪した患者の受け入れを促進して更なる救急医療体制の強化を図っていきます。

回復期を扱う地域包括ケア病棟では、急性期の治療が終了した患者の受け入れを促進して在宅復帰支援を行っていきます。

慢性期を扱う障害者施設等病棟では、重度意識障害や難病患者の治療に当たっています。人吉球磨地域で唯一、球磨病院のみが有している病棟であり、難病患者の受け入れ先として重要だと考えます。

同じく慢性期を扱う療養病棟では、急性期を脱した後の慢性期医療の場として、家庭や施設へ帰るには不安な患者の在宅復帰支援を強化していきます。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (令和5年1月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科・外科・小児科 小児外科・整形外科 消化器外科・泌尿器科 脳神経外科・耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科・検査科・健診 センター	内科・外科・小児科 小児外科・整形外科 消化器外科・泌尿器科 脳神経外科・耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科・検査科・健診 センター	高齢者増加に伴い、心臓 や血管の疾患で受診され る患者へ対応するには、 呼吸器科・循環器科の充 実が不可欠であるため
新設	なし	呼吸器科（予定） 循環器科（予定）	
廃止	なし	なし	
変更・統合	なし	なし	

3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(2022年 12月時点)	2025年
①病床稼働率	2022年4月1日～12月31日 79.16%	98%以上
②紹介率	63.7%	
③逆紹介率	23.3%	

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

幅広く広報活動を行い、人吉・球磨地域の各医療機関や各種施設からの紹介を積極的に受け入れるとともに、逆紹介率を高めることで双方の信頼度を上げていきます。蘇春堂グループ内の病院・介護医療院・診療所と連携を密にすることで、幅広いニーズに応えられるよう努め、稼働率アップにつなげていきます。健診の充実により、地域住民の疾病予防や早期発見、治療に努めていきます。

4 その他特記事項

●開設者の変更

医療法人蘇春堂は平成23年12月に、医療法人朝日野会へ経営譲渡し、朝日野会の系列法人化されました。以来、医療法人朝日野会が経営管理を行ってきました。

今般、2つの医療法人の相互補完による更なる医療・介護サービスの向上を図ることを目的として、医療法人朝日野会と医療法人蘇春堂の合併を計画しています。

合併後、球磨病院、球磨病院併設介護医療院、光生病院及び球磨村診療所の開設者は医療法人朝日野会開設者と同一となります。